



尾嶋一雄 議員 (TSUNAGU) 環境変化を踏まえた 地区計画に変更を

答弁…状況に応じて地区計画の変更を検討する

問 白岡駅東側の地区計画ではB地区が15m、C地区が12mの建物の高さ規制がある。都市計画道路白岡宮代線の開通後は環境が大きく変わることが予想される地域であり、高い建物が建てられない地区計画は変更する必要があると考えるが、いかがか。

答 地区計画策定時の居住者アンケートでは、住環境の保全を図るため、周辺の建物の高さは低いものが望ましいという回答が多かった。市を取り巻く社会経済情勢や地区の実情の変化に応じて、地域住民の意見を伺いながら、地区計画の変更について検討していく。



開発 開発指導要綱の設置基準の緩和を

答弁…市のまちづくりの中で検討していく

問 開発指導要綱では、駐車場及び駐輪場の設置基準を設けているが、現在は自動車を所有する以外にも、多様な利用がある時代である。計画戸数と同数以上とする基準を緩和する必要があると考えるが、いかがか。

答 駐車場の基準は、駐車場不足により生じる道路の交通阻害、交通渋滞の誘発等の問題解決のために設けている基準である。近年、生活様式、価値観等、社会情勢は大きく変わりつつあるため、今後、本市のまちづくりを検討していく中で、必要に応じて見直しを行う。



黒須大一郎 議員 (白和) そろえる教育から 伸ばす教育へ

答弁…次期計画に盛り込む必要があると考える

問 学校に新時代の要請を取り入れた「器を満たす教育」ではなく「心に火を灯す教育」へと教育現場を進化させる時だ。教育振興基本計画等はどうなる。

答 変わる事のない教育の「不易」は重要であり、その中にあっても社会や時代の「流行」を取り入れていく必要がある。次期計画の策定に当たっては、その内容を盛り込んでいきたい。今後も学習や様々な体験活動を通して児童生徒が成長していく場を作っていく。



地域 大山小廃校を急ぐのは跡地利用のためか

答弁…休校の影響は廃校と同等に大きい

問 教育長は、昨年6月に副市長から大山小学校の跡地利用の件で高等学校の話があったと答弁した。子どものためなら休校という手法もある。なぜ急ぐ大山小学校の廃校。

答 休校とは、大山小学校を残したまま在籍する児童がいない状態を示す。このため、廃校と異なり、教育委員会規則を改正することで成立する。しかし、休校の与える影響は廃校と同等に大きいと考えているため、議会の判断を要する廃校という選択をした。